

# 2018年度

# 全

# 校

# 修

# 養

# 会

10月30日(火)・10月31日(水) 遺愛女子中学校・高等学校

## 修養会への招き

学校長 福島基輝

本校の第1回目の修養会は1953年(昭和28年)にもたれました。以来数えて今年第66回目となりました。「修養」とは広辞苑によれば、「学問を修め、精神を磨き、人格を高めるように努力すること」とあります。

今年の修養会は『平和』がテーマです。講師の木村カナ先生は、日本国際飢餓対策機構で仕事をされていて、世界の飢餓の問題について地道に取り組んでいます。どうして飢餓と平和が関係あるの?と疑問に思った皆さんもいるかもしれません。飢餓の背景には実は、紛争、テロそして貧困の問題があります。

ところで、10月16日は「世界食料デー」です。昨年の「世界食料デー」に、国連WFP(World Food Programme)のデイビッド・ビーズリー事務局長は「紛争、移住、そして増加する飢餓の関係性」が明らかになる中で、平和への切実な願いを表しました。「いつか、世界食料デーは平和で食料が十分にあることを祝う日になるでしょう。しかし残念ながら、現在はその日が非常に遠い先に思えます。暴力や紛争があまりにも多く、それによって多くの人々が飢え、支援を必要としています。」と述べました。

国連が発表した、世界の食料安全保障と栄養の現状に関する年次報告書によると、この10年間、着実に減少してきた飢餓人口は再び増加し、8億1,500万人が飢餓状態にあり、そのうち4億8,900万人が紛争の被害を受けている国で暮らしています。世界各地で多くの避難民と会ってきたビーズリー事務局長は「権力を持つ人々と、そして武器を持つ人々に対し、今すぐ戦いを止めるよう要求します。」「私はこの目で傷を負った人々の姿を目にし、この耳で話を聞いてきました。彼らは想像を絶する悪夢に耐えた後も、怯え、お腹を空かせ、栄養不良に陥っています。我々が本当に飢餓をなくそうとするならば、このような残酷な状況を早く終わらせなければなりません。」と述べました。報告書によると、過去25年間で多くの国が飢餓の減少にかなりの成果を上げた一方で、紛争の被害を受けた国々の大多数では飢餓削減の動きが停滞または衰退しました。紛争は経済や農業を荒廃させ、人口の移動を余儀なくするからです。

昨年5月に発表された国連WFPの研究によって、飢餓と移住の関係性が明らかにされました。最も深刻なレベルの飢餓状況にあり、かつ紛争被害を受けている国々では、国外への移住の規模も最大であることが分かりました。紛争や虐殺が1年長引くごとに、1万人に40人の割合の人口が国外へ避難します。また人々は多くの場合、国境を越える前に、土地や仕事などの生活を手放し、国内で複数回にわたって移動していることも明らかになっています。紛争で荒廃した国々では、農業や貿易が途絶え経済が崩壊し、一皿の食事の費用が1日の賃金を上回ってしまう場合があります。

そのような世界の状況の中で、私達は「どうしたらいいのか?」「何ができるのか?」をこの修養会では考えます。主題は『あなたを待つ世界～わたしから始める、世界が変わる～』です。

## 2018年度 全校修養会プログラム

- 日 時 10月30日(火)～10月31日(水)
- 講 師 木 村 カ ナ 先生
- 主 題 『あなたを待つ世界～わたしから始める、世界が変わる～』
- 主題聖句 マタイによる福音書5章13節～16節  
「地の塩、世の光として」

### 【講師紹介】

木 村 カ ナ 先生 (一般財団法人日本国際飢餓対策機構啓発事業部サブディレクター)

### 【経歴】

北星学園女子中学・高等学校音楽科卒業

2013年 札幌大谷大学音楽学部卒業

2014年 新得町レディースファームスクール 農業研修修了

2015年 特定非営利活動法人新得共働学舎 勤務

2016年 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 入職

# 修養会によせて

一般財団法人日本国際飢餓対策機構啓発事業部サブディレクター 木村力ナ

飢餓、貧困、紛争、テロ…世界には、目を覆いたくなるような様々な問題が存在します。私たちは、それを頭ではわかっている「自分にできることはない」と思い込み、悲惨な現実は見ないようにして毎日を過ごしてしまいがちです。

「神様がいるのなら、なぜこんなことが起きるの？」この問いは、飢餓貧困という大きな問題だけでなく、私たちの日常生活にも潜む問いで、毎日おきることで精いっぱいかもしれません。しかし、今この瞬間も同じ大地を踏みながら、私たちが当たり前と思っている「食」を、「安全」を得られずに命を落とす方々が確かにおられます。そして、その命も私たちと同じく、神様がこの世に生み出されたかけがえのない命です。

今私たちが苦しいこと、楽しいこと、学んでいること、それはあなたを待っている「誰か」のために必ず役立ちます。

全ての人世界に出て行くことはできないかもしれません。しかし今置かれている場で起こせるアクションが必ずあり、これから世に出て行けるアクションは増えていきます。少なくとも、この文字を読めている時点であなたにはもうできることがあります。一人一人のアクションは小さくても、必ず周りに影響を与えていき、それは世界も変える力を持っています。

自分にできる「アクション」を見つけるヒントとしてこの時間を用いて頂ければとっても嬉しいです。

# 日 程

## 【一日目 10月30日(火)】

- 8:20～ 8:30 朝読書  
8:35～ 8:55 礼拝  
9:00～12:45 1～4限  
12:45～ 昼食  
13:30 体育館へ移動  
13:45～ 開会礼拝(お話①)『飢餓の始まりといまの世界』  
聖書 創世記3章17節～19節  
讃美歌 258番  
15:15～ 教室へ移動・終礼  
15:40～ 講師を囲む会(教職員 於会議室)

## 【二日目 10月31日(水)】

- 8:20～ 朝読書  
8:30～ 出欠確認・移動  
8:45～ 礼拝(お話②)『立ち上がる力』  
聖書 イザヤ書43章4節  
讃美歌 2編1番  
10:20 教室へ移動  
10:40～ HR(ワークシート②) \*質問用紙を各クラスで記入  
11:40～ 昼食 \*質問用紙を提出(教務事務)  
12:20 体育館へ移動  
12:35～ 閉会礼拝(お話③)『わたしから始める、世界が変わる』  
聖書 マタイによる福音書5章13節～16節  
讃美歌 2編26番  
13:50 教室へ移動 \*椅子片付け  
14:10～ 感想文記述(ワークシート③)  
15:15 終礼  
15:45～ 講師を囲む会(有志生徒)

※VTR鑑賞あり